



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 47 / 2010年7月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第47号をお届けします。今回は、2009年度 AP 研表彰式、4月の韓国ワークショップ参加、5月の中国南京での AP 研第一種研究会の報告です。

【1】 2009 年度 AP 研表彰式

本年度も、昨年度同様、6月のAP研究会の時間帯に、下記のように、2009年度、および、2009年度下期の表彰式がありました。受賞された方、おめでとうございます。今後のご活躍を期待しています。最多発表賞受賞者の方は言うまでもなく、各奨励賞受賞者の方々の多くも下期のみで複数回ご発表されており、非常にアクティブな方々が受賞されております。また、功労賞は24名の方が受賞されています。前AP研幹事、幹事補佐をはじめとして、AP研の活動を支えて下さいました受賞者の皆様、ありがとうございました。なお、この表彰式の詳細につきましては、AP 研ホームページの「AP 研奨励賞受賞者」からもご覧頂けます。

記

- ・日時：2010年6月10日（木）15:20-15:50
- ・場所：機械振興会館 地下3階 研修2号室
- ・受賞者：2009年度最多発表賞（3回）
今野 佳祐（東北大）、飯草 恭一（NICT）、西森 健太郎（新潟大）
- ：2009年度下期学生奨励賞
金 佑鎮（防衛大）、工藤 健裕（東北大）
- ：2009年度下期若手奨励賞
今野 佳祐（東北大）、角 誠（NTTドコモ）
- ：2009年度功労賞
多数（24名）のため、省略



学生奨励賞受賞者
(伊藤, 工藤, 金, (鹿子嶋))



若手奨励賞受賞者
(伊藤, 今野, 角, (鹿子嶋))



最多発表賞受賞者
(伊藤, 今野, 飯草, 西森, (鹿子嶋))



功労賞受賞者（授賞式出席者8名）
陳, 長, 堀, 庄木, (伊藤, 鹿子嶋), 道下, 榊原, 真田, 西森 (敬称略)

【2】 韓国ワークショップ出席報告

日時：2010年4月23日（金）

場所：韓国ソウル市教育・文化センター

参加者：伊藤公一, 正源和義, 陳 強, 西森健太郎(以上執行部), 宇野 亨, 新井宏之,

山田寛喜, 岩井誠人, 榊原久二男, 山口 良(敬称略)

講演 : 計 22 編の招待講演(韓国 11 編, 日本 9 編)

今後の日韓 AP 連携について :

- ・ 2012 年まで 1 年 1 回のペースで交流を行う.
- ・ 2011 年日本(日程は未定), 2012 年 4 月韓国.

【3】 南京での AP 研究会開催報告

日時 : 2010 年 5 月 13 日(木)-14 日(金)

場所 : 中国南京市・東南大学 (Southeast University)

形体 : 第一種研究会 (通常受付で運用), 主催 : 電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究専門委員会, 協賛 : Southeast University, IEEE AP-S Japan Chapter, IEEE AP-S/MTT-S/EMC-S Nanjing Joint Chapter, IEEE Nanjing Section 共催

講演 : 計 22 編(日本 13 編, 中国 6 編, 韓国 3 編)



【4】 AP 研副委員長の戯言

6 月 10 日の AP 研専門委員会から, AP 研執行部, 各種委員会委員, 専門委員が新メンバーでスタートしました. 昨年伊藤委員長が AP 研委員長に就任したときの目標は, 異業種交流を行うこと, 外国との交流をより活発化させることでした. 4 月に韓国とのアンテナ・伝播ワークショップ, 5 月に中国南京で AP 研第一種研究会を開催し, 着々と目標を達成しつつあるように思います. 両研究会とも地元の先生方や学生の方が参加されて大成功だったと思います. 特に, 5 月の AP 研究会には韓国の先生 3 人も出席され, 日中韓の研究交流ができました. このような活動がアジア AP 研究会に発展させることができればよいと皆さん, おっしゃっていました. 私も両研究会に出席し, 韓国, 中国のしきたり, 習慣を大いに勉強させていただきました. 韓国の乾杯は 2 人が差して返杯をしますが, 中国は 1 人がテーブルにコップの底を当てて音を立てるのを合図に, 全員が乾杯をしなければなりません. いずれも 1 人で酒を飲んではいけないということで共通していますが, 中国のほうがきついですね. 今回は, 韓国の先生, 中国の先生には大変お世話になりました. 次回, 日本で開催するときは, お返しをしなければなりません.

今回の中国での AP 研究会開催では, 昨年のマカオと同様に, 表紙は日本で用意して持参し, あらかじめ送っていただいた技報本体と一緒に, 当日ファイルする予定でしたが, 技報が上海税関でストップしたため届かないというトラブルがありました. このため, 急遽事務局在庫の 9 部のみ持参して, 中国・韓国の発表者に配布し, 他の参加者には, USB メモリに記録して配布しました(終了後に削除するように依頼). 今回のトラブルは, 印刷業者からの直接送付が主な要因と考えられるので, 今後の海外開催では, 技報は日本からの参加者が分担して持参もしくは送付することが望ましいという教訓を得ました.

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 正源和義 (NHK)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP 研執行部のメールアドレス)

AP-NET : AP 研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録は AP 研 HP にて

AP 研 HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

ISAP Archives : <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

